

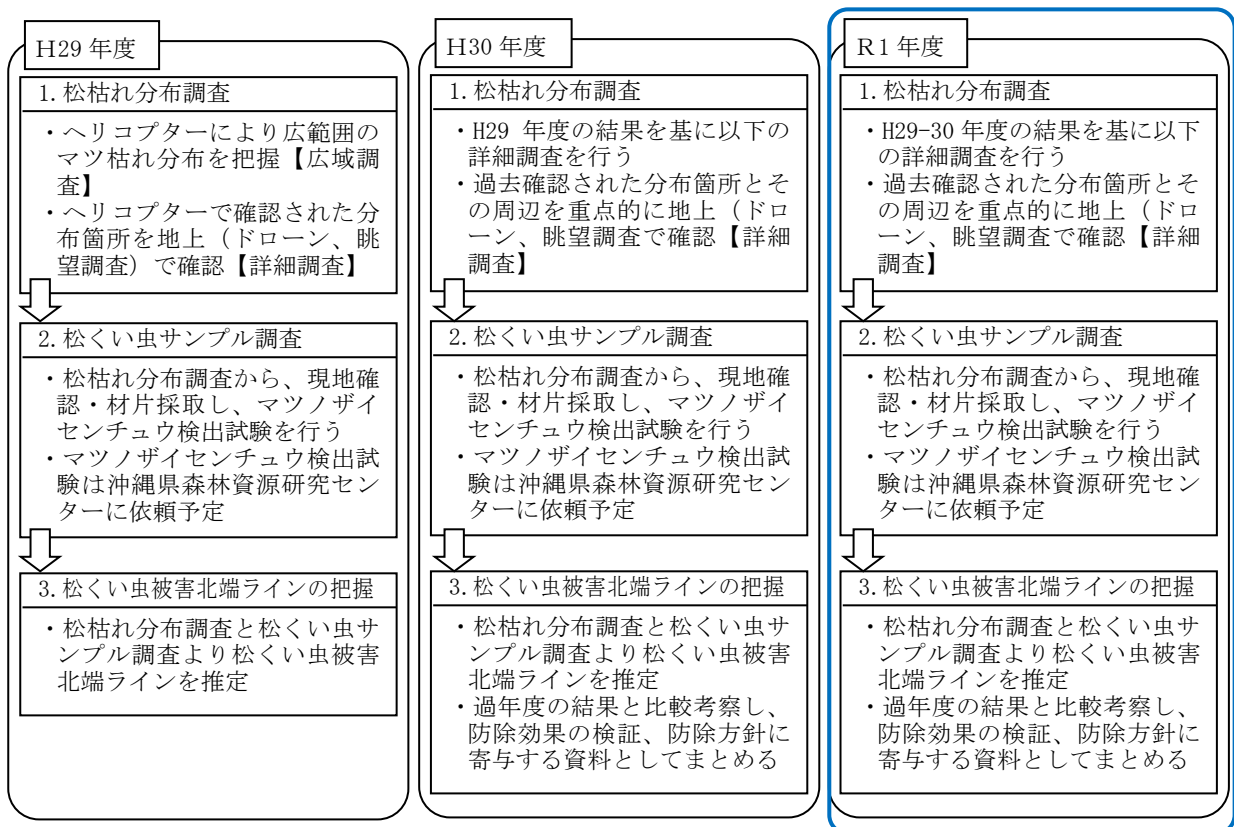
2. 松くい虫について

2.1. 松くい虫被害北端ラインの把握

やんばる地域の松くい虫被害の北上を抑止するためには、正確な北端ラインの把握が不可欠であり、平成30年度に実施した3村における分布調査を基に、令和元年度は過去確認された分布箇所とその周辺において重点的に分布調査を実施した。今後の松くい虫調査・対策検討にあたっての基礎資料とする。

やんばるの「広大な森林域」における調査を行うにあたって、松くい虫被害の分布を「もれなく」「効率的に」把握することが重要と考える。

【実施フロー 平成29～令和元年度】



I. 令和元年度 結果

1. 松枯れ分布調査（令和元年度）

令和元年度の松枯れ分布調査は、やんばる3村（国頭村、東村、大宜味村）において、広域での枯死木把握方法を検証することも踏まえ、平成30年度に引き続き詳細な調査として眺望地現地踏査、ドローン調査を実施した。